

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表(討議の結果)

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 討議の結果 |
|----------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 8 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 8 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 8 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 ・利用児の特徴や保護者からの要望に応じてその都度、掲示物や環境を工夫していく。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 8 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 ・児童発達支援と放課後等デイサービスの利用児の年齢層が異なるため、時間帯によって机の配置や環境を変えている。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 6 | 1 | ・記録は職員全体が共有できるよう工夫。 ・常勤職員は情報共有している。非常勤職員はその都度共有している |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 7 | 0 | ・H30.12～保護者向けのアンケート調査実施。 ・保護者の意向を受け取るだけではなく、職員同士で今後の対策についても丁寧に検討する時間を設けている。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 2 | 4 | ・H31.4～公表予定 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 4 | ・H31.4～実施予定 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 7 | 1 | ・一年に4回以上の事業所および法人全体の研修を実施 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 6 | 0 | ・6ヶ月に一度にモニタリングを行い、保護者同意のもと個別支援計画を修正・作成する。 |
| | 11 | アセスメントの適切な実施を行うために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 1 | 5 | ・非当事者によるアセスメントツール(エビデンス)をろう者にそのまま適用できるのかどうか検証を進めている段階 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 5 | 1 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 6 | 0 | ・児童発達支援の保護者からもおおむね「適切」との意見をいただいている。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 7 | 1 | ・週案・月案は職員同士でプログラムを検討する。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 7 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 ・子どもの特性だけでなく季節に合わせた制作活動も取り入れている |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 7 | 0 | ・集団活動への参加が難しい場合は、職員がマンツーマンで付き添って関心に合わせた遊びを提供している。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 8 | 0 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 8 | 0 | ・気づいた点やフィードバックなどを話し合っている。 ・記録の取り方については今後工夫していく必要がある。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 8 | 0 | ・毎回、保護者へ活動の様子を報告し、職員間でも共有を図っている。 |
| 関係 | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 7 | 0 | ・6ヶ月に一度にモニタリングを行い、保護者同意のもと個別支援計画を修正・作成する。 |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 6 | 0 | ・事業所にモニタリングに来てもらい、顔を合わせて情報交換や、個人情報に留意したメールによる情報交換を行っている ・当事者職員を配置している |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っているか | 4 | 2 | ・ろう者を持つ親に対する論文を上梓した職員を配置している |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 2 | 3 | ・必要に応じて、利用児が通っている別の事業所(療育機関等)に出向き、担当者と情報交換を行っている。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 2 | 3 | ・利用児の主治医は契約時に確認済み。 |

| | | | | | |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 機関や保護者との連携 | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 1 | 4 | ・移行支援は実施していない ・ただし、手話のできる職員がいるか、近隣に手話環境があるかどうかのリサーチは行っている。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 1 | 4 | ・移行支援は実施していない ・ただし、手話のできる職員がいるか、近隣に手話環境があるかどうかのリサーチは行っている。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 4 | 1 | ・手話環境のある児童発達支援事業所との情報交換を行い、支援内容の改善に努めている。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 2 | 4 | ・力点は特においていない |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 2 | 4 | ・ろう者を持つ親の会等と意見交換や交流を図っている |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 7 | 0 | ・毎回、保護者と家庭や学校の様子について情報を共有する時間を設けている。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 5 | 1 | ・毎回、活動の後半に手話の勉強タイムを設定。親子間のコミュニケーションの促進をねらいとする |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | 0 | ・契約時に書類をもとに説明している。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 5 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 8 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 ・毎回、保護者と家庭や学校の様子について情報を共有する時間を設けている。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 5 | 0 | ・年に数回、保護者向けの勉強会を実施。 ・保護者の満足度はそれほど高くない。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 7 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 1 | 4 | ・会報は発行していないが、メールを通して発信している。 ・会報という形は取っていないが、SNSやメール等で発信している |
| | 38 | 個人情報取扱いに十分注意しているか | 8 | 0 | ・児童発達支援の保護者からも「適切」との意見をいただいている。 |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 8 | 0 | ・毎回、保護者と家庭や学校の様子について情報を共有する時間を設けている。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか | 1 | 5 | ・土日閉所のため実施が困難 |
| | 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 1 | 5 |
| 42 | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 0 | 6 | ・本格的な避難訓練(消防署による訓話等)はこれから |
| 43 | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 6 | 0 | ・契約時に保護者との情報共有を行っている |
| 44 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | 2 | ・保護者からの情報を得ているが、医師の指示書に基づいて対応していない。今後検討する必要がある。 |
| 45 | | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | 0 | ・事故発生に応じてヒヤリハット事例集及び防止対策に関する記録を作成。職員間で共有するとともに即時環境を整備している。 |
| 46 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | 1 | ・マニュアル作成および事業所内研修で実施予定 |
| 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 2 | 3 | ・職員間および保護者への丁寧な説明が求められる。 | |

●この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくもので「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。